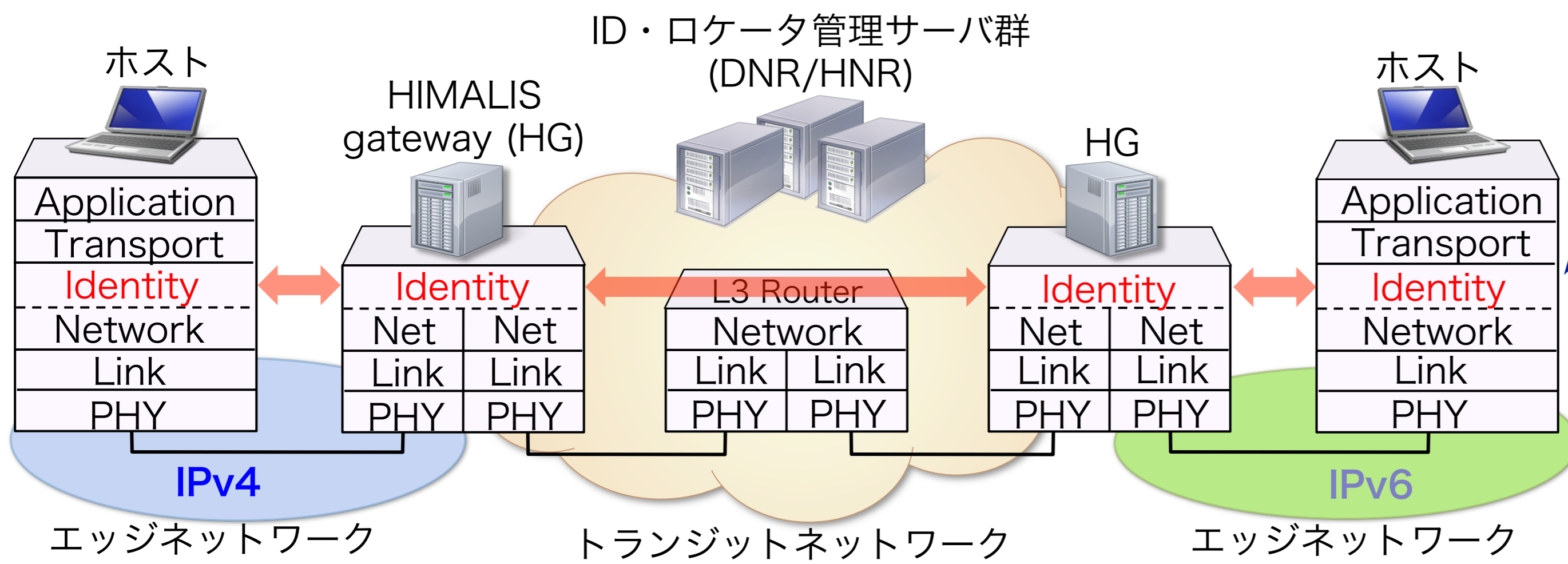


## ID通信ネットワーク HIMALIS

- 通信にIDを導入することで、IPアドレス等の位置情報 (ロケータ) が変化しても通信継続可能 (モビリティ、マルチホーム、異種ネットワークプロトコル間通信)。
- IDと非対称鍵暗号を用いたホスト認証ならびにデータセキュリティ機能を実現する識別層により、ロケータ非依存の安全な通信を実現。

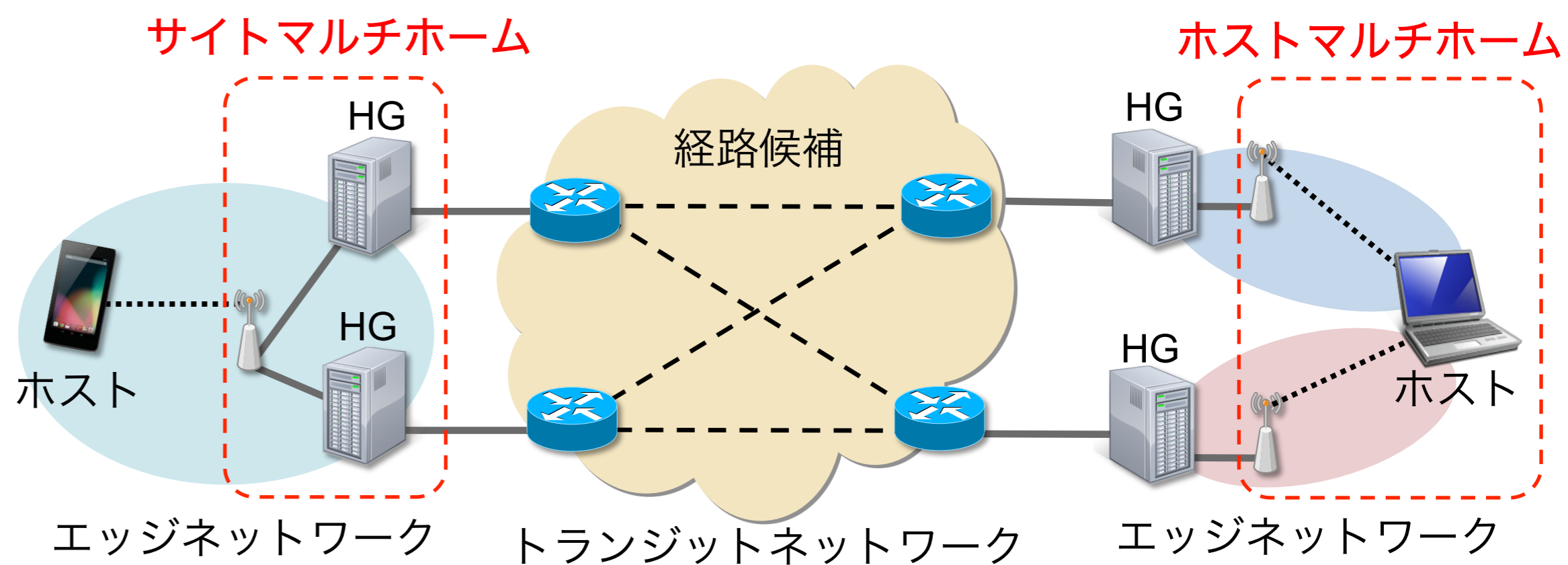


### 識別層とIDセッション

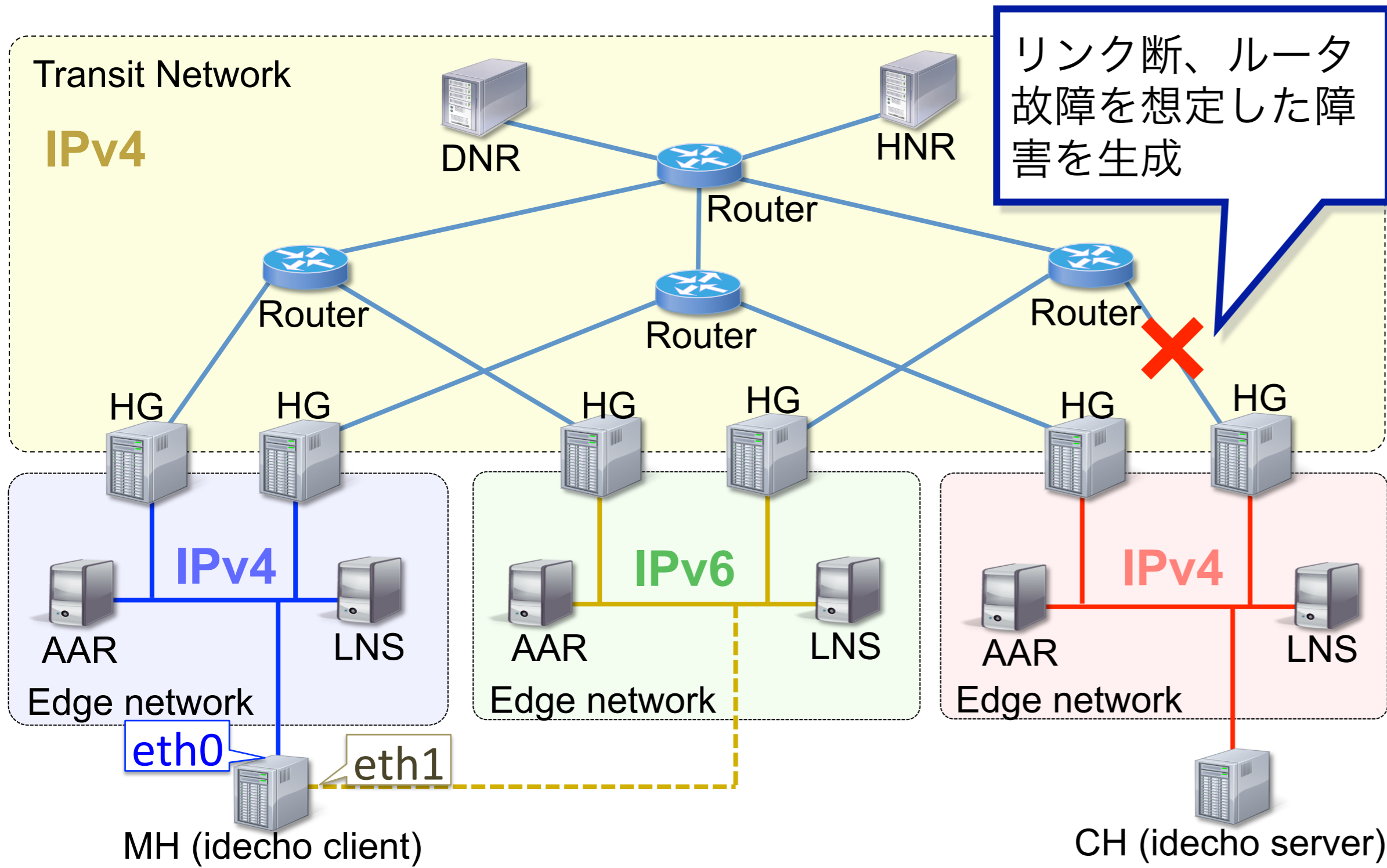
- 通信開始時に識別層でホストの相互認証・セッション構築。
- HGと連携。ハンドオーバ・通信障害検知サポート。
- パケット送受信状況モニタリングにより、通信路障害を検知。通信可能な経路を探し、通信路を切替える。

## HIMALISの経路障害検知・経路切替機能

- 識別層で通信状況のモニタリングを行い、経路障害を検知。
- 通信可能な経路を探し、IDセッションを別経路に切替える。
- TCP、UDP通信中の経路障害に対応。

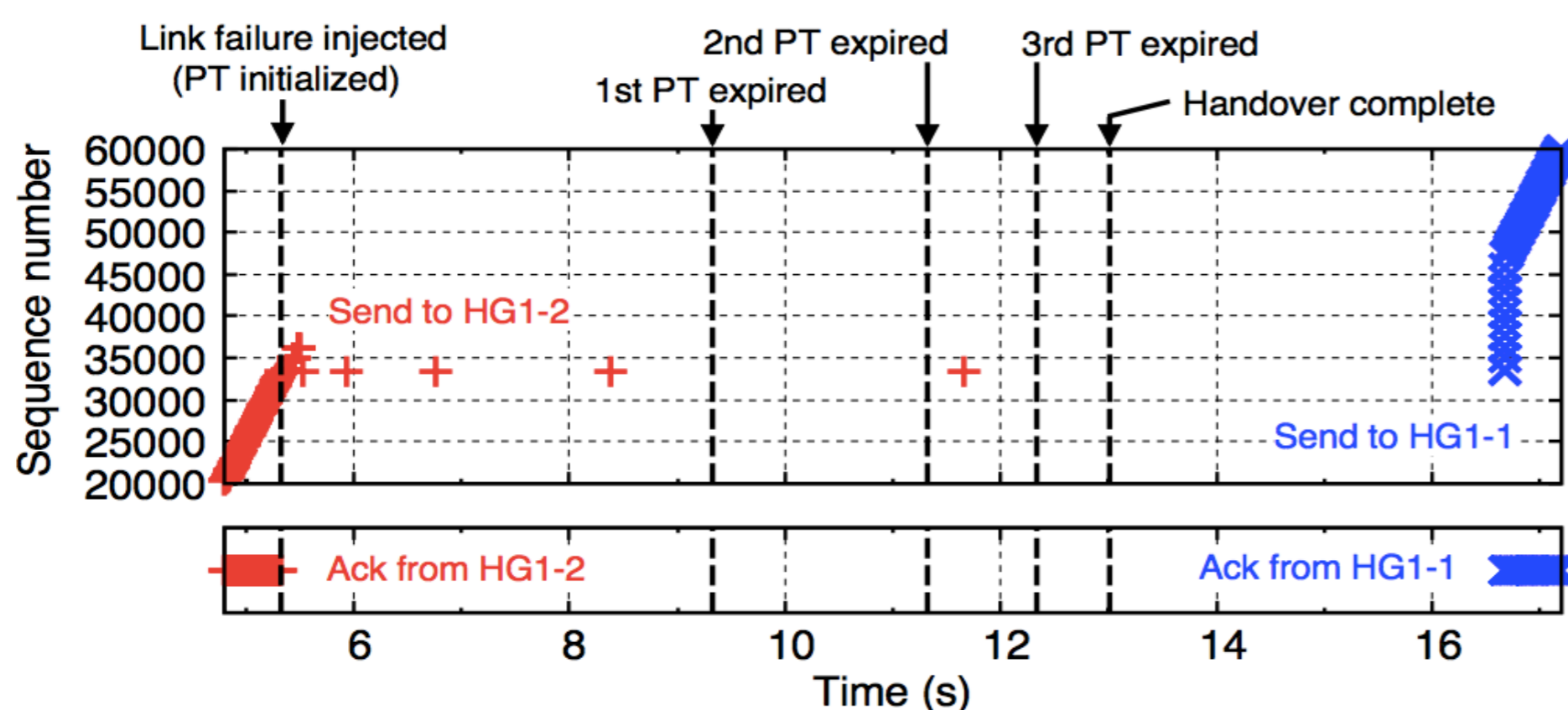


## StarBED設備を利用した実験ネットワーク構築

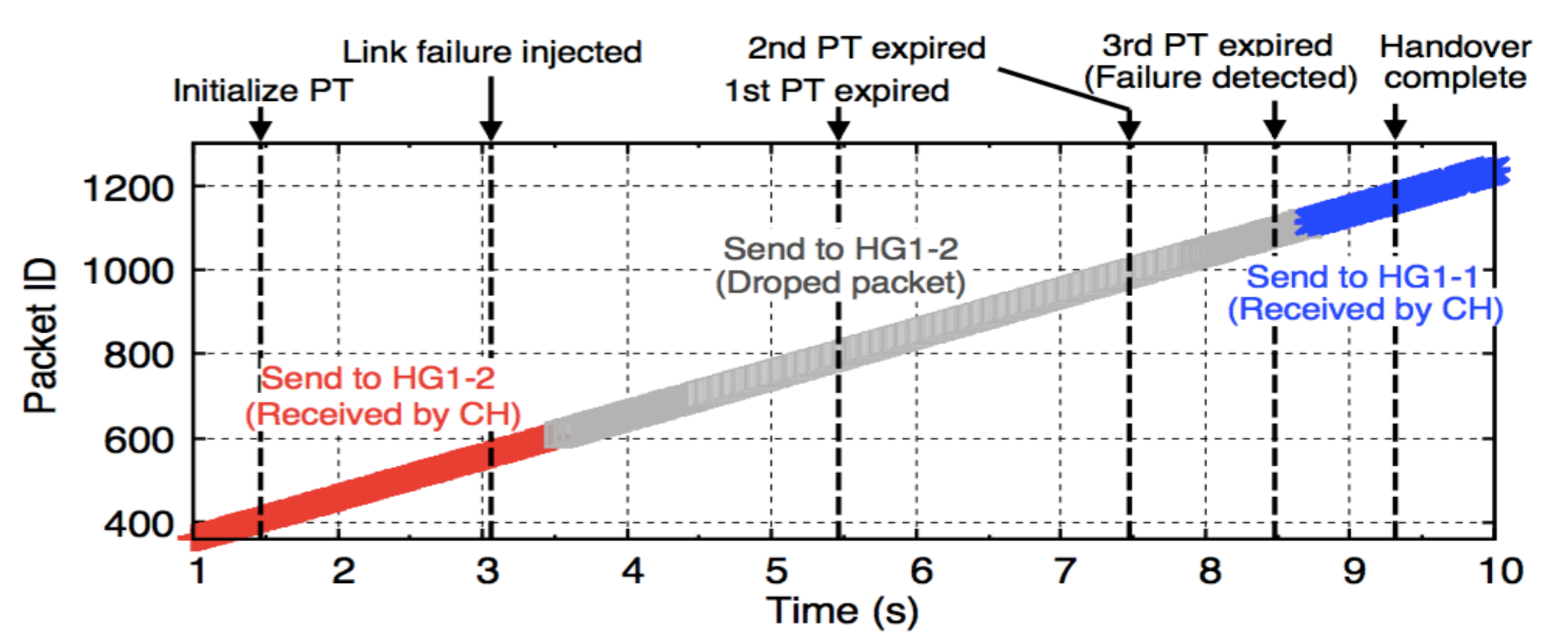


- 経路障害検知・経路切替えの仕組みを実機で動作検証ならびに問題点の洗い出しを行う。
- 実機120台 (18台でネットワーク構築、102台で2,000ホスト構築) を利用し、ホストがサイトマルチホームならびにホストマルチホーム接続環境を構築。

\* AAR ... ホスト接続時の認証サーバ  
LNS ... ローカルレゾルバ



TCP通信時の経路障害復帰



UDP通信時の経路障害復帰